

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年1月16日

協議会名: 浜中町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 浜中町地域内フィーダー系統確保維持計画

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
浜中町	<p>運行系統名:霧多布湿原線系統1 運行区間:霧多布温泉ゆうゆ～湿原センター～茶内駅 運行回数:610回 運賃:100～200円</p> <p>運行系統名:霧多布湿原線系統2 運行区間:霧多布温泉ゆうゆ～湿原センター～茶内駅 運行回数:854回 運賃:100～200円</p> <p>運行系統名:茶内線 運行区間:茶内駅～茶内福島外～茶内駅 運行回数:254回 運賃:100～300円</p> <p>運行系統名:浜中線 運行区間:霧多布温泉ゆうゆ～浜中地区外～浜中駅 運行回数:168回 運賃:100～500円 【車両減価償却費等国庫補助】</p>	<p>時刻表・マップの配布を継続したことで、利用者においてJR花咲線に接続する等の利便性の理解が進み、湿原線において利用者増となった。 茶内線・浜中線についても、利用促進に努め、利用者増となった。</p>	A 概ね計画通り実施された。	A 霧多布湿原線については、利用者数目標値3,150人に対し、4,316人の実績があった。 予約運行型の茶内線・浜中線について利用者数目標値850人のところ、1,291人の実績があった。 両路線とも目標値を上回る事ができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、町営バスに地元小中学生から募集したデザインをラッピングし、住民周知と利用促進を図る。</li> <li>・交通マップの全戸配布と、可能な限りワークショップを実施していく。</li> <li>・バス停が遠くて利用しにくい町民に対し、利便性の向上についても検討していく。</li> <li>・時刻表、マップの改善と内容の周知を引き続き進め、利用促進に努める。</li> <li>・JR北海道と連携する等、町民の利便性の向上について検討していく。</li> <li>・観光客の利用について、可能な限り要望に沿うように努める。</li> <li>・破損や老朽化しているバス停留所については、更新を進めていく。</li> </ul>